

わろてんかい
笑てん会

会報



加古川中央市民病院がんサロン「笑てん会(わろてんかい)」は、がん患者さんとその家族が、体験を語り合いお互いに癒される場をつくることを目的として平成29年7月に発足しました。「笑てん会」という会の名称は、がんになっても、自分らしく笑って生きようという意味が込められています。

勉強会の様子

第1回は、「世の中のがんの流れ」というテーマで6名が参加しました。第3期がん対策推進基本計画ではゲノム医療の充実が挙げられています。「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」の目標のもと6年計画が立てられていることを学びました。

第2回は、「食べられない時の食事の工夫」というテーマで11名が参加し、管理栄養士が講義を行いました。吐き気や味覚異常などの症状に合わせた食事の工夫を学び、治療で食事が食べられないつらさを皆で共有し、励まし合いました。

第3回は、「生活に役立つ制度」で11名が参加し、社会福祉士が講義を行いました。日本の社会福祉制度は、患者さんが知って申請しないと使えないものが多く、高額療養費制度を始めとして、傷病手当金、障害年金、介護保険制度などについて学びました。

交流会の様子

交流会では、毎日不安がある中でも、病気になることから色んな事に対して自然と「ありがとう」が言えるようになったこと、いつ病気が悪くなるかわからないけれども、趣味などを今の瞬間は大事にすることが生きがいになり繋がりが免疫力も上がるのではないかと思うこと等を話し合いました。がんサロンに参加するようになってから他の参加者の方にパワーをもらい、病気になってから辞めていた仕事やボランティアを再開したという方もおられました。

つらい気持ちを抱えてこられた参加者の方には他の参加者から、「無理に頑張らなくて良いこと」「良いことに目を向けること」などをお声掛けされ、涙される様子もありました。その方も次の会の時にはとても良い笑顔で趣味の活動を再開されておられ、参加者みんなが勇気づけられ、笑顔になりました。

編集後記

色んな年齢、色んな経験をした参加者の方々が悩みやつらさを共感し合い、病気を経験した人だからこそ言える言葉を互いに掛けておられたことに胸が熱くなりました。今後もがん患者さんとご家族の癒しの場となるよう、毎月第3火曜日14時からきらりホールで開催します。

がん相談支援室 和田

今後の勉強会開催予定

7/17	もっと知ろうよ！緩和ケア
8/21	色々な療養場所の選択
9/18	生活の中での運動

